

第7課 話す

◆会話1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 024)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返り(look back)なさい。できたことにチェックしなさい。

- 相手に受け入れてもらえるように、「ちょっと言いづらいんだけど、～」 「気持ちうれしいんだけど、～」などの前置き(preamble)の表現が使えた。
- 「～わけではない」などの表現を使って、やわらげて(soften)、嫌だと思ふ理由が伝えられた。
- 言いにくいことをはっきり最後まで言わずに、「～て……。」などの表現を使って伝えられた。
- 「なんか、なかなか言い出せなくて……。」 「こんなこと言ってごめんね」などの表現を使って、相手を気づかうことができた。
- 相手を嫌な気持ちにさせないように、イントネーション、話すスピードに気をつけることができた。

◆会話2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 030)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 提案とその理由が述べられた。
- 他の人の意見を受け入れてから、自分の考えを述べることができた。
- 相手に反対の時は、「反対だ」とはっきり相手を否定しない(do not deny) で、「ただ、～かもしれません」などの表現を使ってやわらかく(softly) 問題点が言えた。
- 賛成の時は、「～さんの意見に付け加えるなら、～(の)はどうでしょうか」などの表現を使って自分の考えが付け加えられた。

第8課 話す

◆会話1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 056)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 忘れた／落としたところに電話をかけ、心当たりがある場所を伝え、見つかった時連絡してほしいと丁寧にお願いできた。
- 落とし物の特徴（色、柄、^{がら}素材、^{そざい}大きさ、デザインなど）を3つ以上伝えられた。
- 見つかった物を{送って／^{あず}預かっていて}ほしいとお願いした後、「お手数料をおかけしてすみません」と^{あやま}謝れた。

◆会話2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 062)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 相手に質問して、注意を^ひ引いて(get attention)から紹介できた。
- どんな物か(特徴)や、どうやって使うかを相手がイメージできるように具体的に説明できた。
- ^{みりょく}魅力を伝える時の表現を使って、魅力を2つ以上効果的に伝えられた。

第9課 話す

◆会話1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 088)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 相手が困っていることを聞いて、「よかったら／私でよければ」などの表現を使って申し出ができた。
- 相手が遠慮^{えんりょ} (hold back) した時、「遠慮しないで」や「困った時はお互い^{たが}さまだよ」などの表現を使って、もう一度申し出ることができた。
- 相手が申し出を受け入れやすくなるように、迷惑^{めいわく}ではないことや迷惑ではない理由が伝えられた。

◆会話2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 094)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 「その日は～んだ。それで～んだけど。」などの表現を使って、話したいできごとが起こる前の状況を十分に説明できた。
- 「でも、～て……」を使って状況の変化を述べ、話したいできごとの導入^{どうにゅう}ができた。
- 「しかも」を使って、結末^{けつまつ}に向けて話を進めることができた。
- 「結局」を使って、結末を話すことができた。
- 最後に話した内容をまとめ、その経験を通して考えたことが述べられた。

第 10 課 話す

◆会話 1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 124)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 面接の最初と最後に丁寧にあいさつをすることができた。
- 長所^{ちようしょ}について聞かれた時、初めに短く一言^{ひとこと}で答えることができた。
- 長所を表す具体的なエピソードを説明することができた。
- その長所が役に立つと伝えて、答えをまとめることができた。

◆会話 2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 130)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 「お手元^{てもと}の資料は～」 「{図1 / 図2} をご覧^{らん}ください」などの発表の表現が使えた。
- 2つのデータ(図1・図2)について、「～を占めています / ～にのぼっています」などのデータを説明する時の表現を使って、注目したい結果を説明することができた。
- データの結果からわかることを「つまり～わけです」や「このことから～がわかります」などの表現を使って短くまとめることができた。
- データの結果からわかることに対して、提案が述べられた。

第 11 課 話す

◆会話 1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 154)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 「折^おり入ってご相談したいことがあるんですが……」「こちらの都合で申し訳
ございませんが、～」など前置^{まえお}き (preamble) の表現が使えた。
- 適切^{てきせつ}な理由 (legitimate reason) を言って、丁寧にお願いをすることができた。
- 状況を詳しく説明し、もう一度強く丁寧にお願いすることができた。
- 相手が受け入れやすい条件^{じょうけん} (condition) を出して、丁寧に交渉^{こうしょう}する (negotiate) ことができた。

◆会話 2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 160)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 聞き手が理解しやすいように「まず」「次に」「まとめると」などの表現を使っ
て話すことができた。
- 「一方」「それに対して」などの表現を使って、比較することができた。
- 「{～に対して／などの言葉と／という助詞が} 使われる」などの表現を使って
対象や一緒に使う言葉や助詞に注目して比較することができた。
- 最後に「使い方」と「意味」をそれぞれまとめて比較し、注意点を述べるこ
とができた。

第 12 課 話す

◆会話 1 「1-4 練習しよう(テキスト p. 188)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 「～ことになったので、ごあいさつに伺いました」などの表現を使って、お別れのあいさつを言いに来たことを伝えることができた。
- 「～のおかげで、～ようになりました」「～なければ、～ませんでした」などの表現を使って、お世話になったことやお礼を伝えることができた。
- 最後にもう一度感謝を伝え、「～をいかして、これからもがんばります」などの表現を使って今後について話して会話を終えることができた。

◆会話 2 「2-4 練習しよう(テキスト p. 194)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 賛成／反対の【意見のスピーチ】をする時、「まず」「それに」を使って、2つの違う理由を言うことができた。
- 相手の反論に答える時、「確かに～。しかし～」を使って答えることができた。
- 相手の意見のスピーチに対して【反論の質問】をする時、「～とおっしゃいましたが」「～とは限らないと思います／(わけではない) のではないでしょうか」などの表現を使って質問をすることができた。

◆会話2 「2-5 もっと練習しよう(テキスト p. 195)」のチェックポイント

自分の話し方を振り返りなさい。できたことにチェックしなさい。

- 【まとめのスピーチ】をする時、「まず」「それに」を使って、賛成／反対の理由をもう一度述べることができた。
- 【まとめのスピーチ】に、「確かに～。しかし～。」を使って、相手の意見への反論を入れることができた。
- 【^{はんてい}判定】する時、賛成側／反対側の2つの理由とその論理性、質問への答え方、相手への質問の^{するど}鋭さ (insightfulness) などの点に注目して、どちらがよかったかを判定できた。
- 【判定】する時、賛成側・反対側それぞれのよかった点を述べてから、どちらがよりよかったかを述べることができた。